

イベント情報

『親子で体験！夜の高尾山！』

夕焼け鑑賞をしたり、ムササビを待ち伏せしたり、星空をながめたり…。親子でゆっくりのんびり、夜の森を歩いてみませんか？

実施日時：7月30日(土) 16:40～21:00
対象：小学校3年生以上の親子
定員：20人

『夏休み子ども宿題お助け観察会』

楽しい夏休み、どこかに出かけた時に「高尾とはここが違うなあ」、「あ、似てる！」と感じてもらえたら…。子どものための観察会です。

実施日時：8月6日(土) 9:25～15:20
対象：小学校4～6年生
定員：20人

◆イベント詳細・申込み方法◆

東京都広報7月号に掲載致します。ビジターセンターのホームページ↓からもご覧いただけます。
<http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

⇒夏のスペシャルイベント情報はこちら⇒

イベント報告 自然講座 2005年6月5日

『女性のための安心登山学』



登山を始めてみたいという女性が増えていることを受けて企画した新講座。講師には山岳ライターの柏澄子さん(37歳)をお迎えしました。女性1人で登山するときの持ち物、トイレの対処法、応急処置などを話し合い、野外で実演しました。参加者は全員女性で、若い参加者も多く、初めから最後まで楽しい雰囲気ですすめることができました。

2005年秋号

次号予告

2005年10月1日発行予定

木の实についてトピックス

1号路自然情報マップ

ジッパー付きビニール袋-観察お助けグッズ④-

ゴミ問題-高尾山からのぞいてみよう環境問題④-

購読の方法

80円切手と、封筒(※宛先に送付先の郵便番号・住所・氏名を必ず記載してください。)を送付希望分同封し、右記ビジターセンターまでご郵送下さい。

高尾山こぼれ話 たたら解説員

森は先生

から

私は都市公園にも勤務していて、花壇作りをしています。園芸植物は手をかけてあげないと元気に育つことが出来ません。これからは毎日の水やりが大変。だから、高尾山に来るたびに、森の植物は偉いなあ～すごいなあ～と感心してしまいます。人間から肥料や水をもらうこともなく、自分たちの力だけでたくさんの植物・動物が暮らしている…。

森は私たちが学ぼうとすればいろんなことを教えてくれる素晴らしい先生です。都市公園に通うようになって、ますますそう感じる今日この頃です。



夏のスペシャルイベント情報

夏休み、親子で楽しめるイベントをご用意しています。みなさん、あそびにきてくださいね！

親子で高尾山の自然を楽しもう！

期間：平成17年7月20日(水)～8月31日(水)
※8/15(月)は閉館日です。

内容：①親子向けワークシートの配布(随時実施)
※野外観察セットを貸し出します。
②子ども実験コーナーの実施(一般プログラムの時間を除き館内にて随時実施)

ナイトガイドウォーク

「インタープリターと歩く夜の高尾山！」

高尾山頂から麓まで、夜の森を楽しみませんか？

期間：8月毎週土曜日 時間：17:45～20:15
対象：小学3年生以上(小学生は保護者同伴)
定員：各回15名

お申し込み方法：電話(9:30～16:30)にて先着順
お申し込み期間：7/5(火)～7/22(金)

☆団体でのプログラム利用は事前にご相談下さい。

編集後記

今号では6号路の周りの自然を紹介しました。谷川から涼しい空気が流れてくる、この季節におすすめの道です。M.B

季刊 高尾ビジターセンターニュースレター「のぶすま」

2005年7月1日発行Vol.3

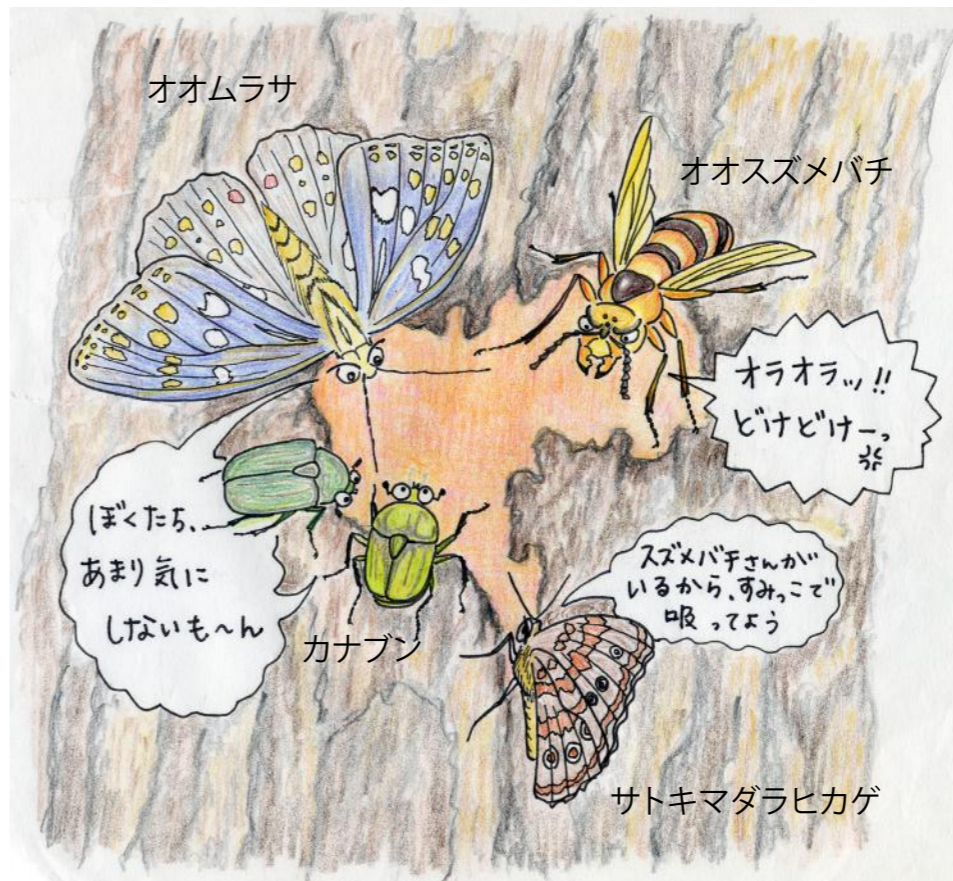
発行者

東京都高尾ビジターセンター 自然解説員
〒193-0844 東京都八王子市高尾町2176
電話 0426-64-7872 FAX 0426-62-9926
ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~takao-vc/>

樹液レストラン開店！

今年も高尾山頂のコナラの木に樹液レストランが開店しました。毎年、夏だけの期間限定レストランです。常連は、スズメバチやカナブン、チョウたち。天気の良い日は人気が高く、たくさんのお客(虫たち)で大にぎわい。ただし、雨の日は閉店です。

レストランの良い席(樹液のたくさん出る場所)は、奪い合いになります。オオスズメバチは良い席を独り占めしようと、ほかの虫たちを追いのけたり、仲間内でもトラブルが絶えません。時にはオオスズメバチの方がチョウに追われることも。虫たちも生きるために必死です。



レストランにやってくるお客(虫たち)を見るときは、ちょっと注意が必要です。おこりん坊なスズメバチに見つからないように、そっと覗いて見てください。

レストランの常連客は・・・

| 団体名(科名) | お客様一覧(種名) |
|------------|------------------------------|
| コガネムシゴ-行 | カナブン オオカナブン クロカナブン シロテンハナムグリ |
| スズメバチゴ-行 | オオスズメバチ コガネスズメバチ キロスズメバチ |
| タテハチョウゴ-行 | アカタテハ ルリタテハ スミエカシ オオムラサキ |
| シメノメチョウゴ-行 | コシノメ クロヒカゲ ヒカゲチョウ サトキマダラヒカゲ |

ちょっと登山情報

| | 日の出時刻 | 日没時刻 | 平均気温 |
|-------|-------|-------|-------|
| 7月1日 | 4:29 | 19:01 | 24.8℃ |
| 7月15日 | 4:36 | 18:57 | |
| 8月1日 | 4:49 | 18:46 | 26.4℃ |
| 8月15日 | 5:00 | 18:31 | |
| 9月1日 | 5:13 | 18:09 | 22.3℃ |
| 9月15日 | 5:23 | 17:49 | |

※記載した日の出・日没時刻は東京での時刻に、平均気温は八王子市の気温になります。

この季節は、アシナガバチや、スズメバチの仲間が活発に活動しています。まずは、この3点を守って下さい。①巣にいたずらしない。②黒や紺色以外の服、帽子を着用する。③飴や、ジュースを食べながら歩かない。香水の香りにも反応するので控える。登山の前に、対処法や刺された時の応急処置などを確認しておきましょう。

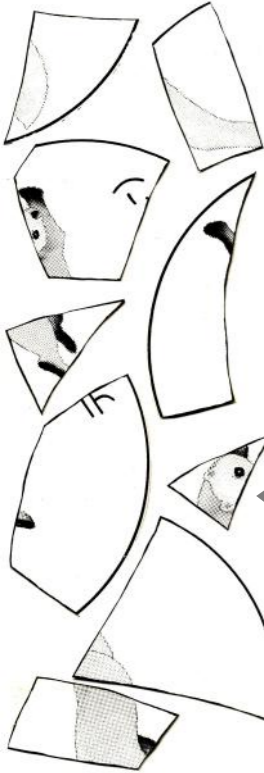
季刊 高尾ビジターセンターニュースレター
のぶすま

2005年夏号 Vol.3

「のぶすま」とは、ムササビの古い呼び名です。高尾山に住む人気者のムササビにあやかって「のぶすま」とつけました。

**6号路の
パズルクイズ!**

下のパズルをハサミで切って右隣にあるの枠に当てはめてみよう。



フンを水で溶かして、こしてみると、サルナシや、モミジイチゴなどの種が出てきます。昆虫のかけらが入っていることもあるよ。

7・8・9月の ビジターセンター発

6号路自然情報

この季節、沢の風が気持ちいい6号路を歩いて山麓から山頂まで歩いてみては？ 沢好きな生き物たちとの出会いが楽しめます。

夏の虫情報

オニヤンマ、ミルンヤンマ、アサギマダラ、ヨツスジハナカミキリ、ヒメコブオトシブミ、フラスズメの幼虫、オナガアゲハ、アカハナカミキリ

**6号路の
パズルクイズ!**

誰の仕業かな？道端のフン

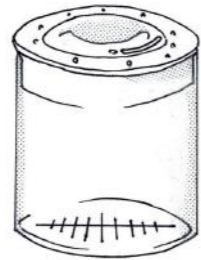
道の真ん中や石の上の目立つところに、時々直径1cmくらいの細長いフンがちよろりんとして落ちています。よく見ると、中には木の実の種などが…。さて誰のしわざでしょう。答えは左にあるパズルを組み立てると出てくる動物だよ。



観察お助けグッズ #3

レンズ付き観察ケース

動きまわる小さな虫を観察するならこれ！前、後、横、下と、360°好きなところからじっくり、拡大して観察できます。直接触るより虫へのストレスも少ないんです。虫以外にも植物の種、砂、火山灰の観察にも便利。ポケットに1つしのばせておくといつもの山歩きがぐっと楽しくなりますよ。プリンのカップなどに虫めがねを組み合わせて代用してみてもいいですね。



大きさ：直径55mm高さ60mm。穴があいているタイプ。採集した虫の仮住まいにもできる。底にはスケールがついているので大きさも把握しやすい。



大きさ：直径35mm高さ68mm。3~4倍のレンズ。大きなホームセンターや理科道具屋さんで手に入ります。400円~

チドリノキの種

カエデらしくない葉っぱですが、カエデの仲間。その証拠にほら、くるくる回るプロペラ型の種がついています。



しぶとく咲くよ。タマアジサイ

アジサイと言えば梅雨の花。でも玉のようなつぼみをつけるタマアジサイは、夏中花が楽しめます。



水の中の生き物

川の中には様々な生き物たちが住んでいます。石をひっくり返してみると、サワガニがはい出てくるかもしれません。観察したあとは、元の場所に戻してあげてね。

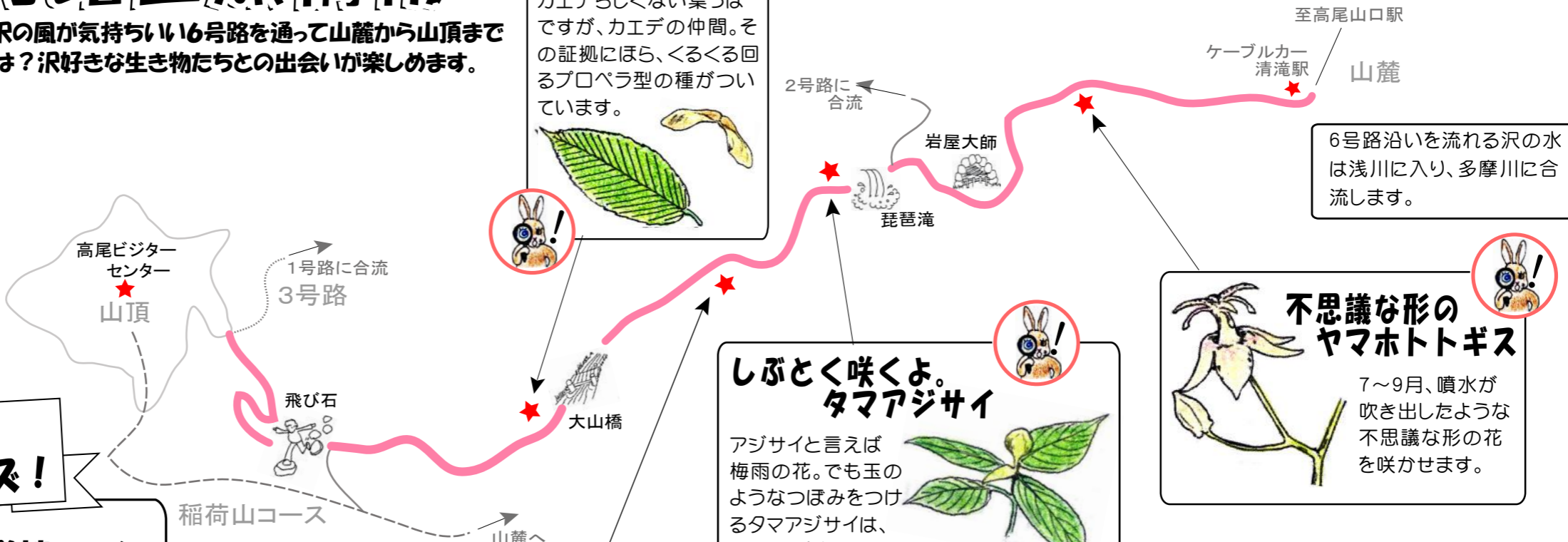


8本足でもクモじゃない！ ザトウムシ

足もとをゆらゆらと揺れながら走り去る虫。登山道でたくさん目にしますが、実は自然が豊かなところにしか住めない生きものなんです。詳しくは、ビジターセンター窓口でセルフガイドを配付しています。



さあ、頼りはあなたの5感



高尾山からのぞいてみよう環境問題③

山道ものがたり

『山道に階段が多い』『階段の段差が高いから歩きづらい』高尾山でよく耳にする言葉です。高尾山の山道は、実は下のような経緯から、階段がつけられています。登山者が多いので、踏みしめられて固くする→植物が減る→土は雨水に流される→道の真ん中がえぐれてくる→登山者は、道がえぐれたり、滑りやすいところを避けて、道の端の植物の生えているほうを歩く→植物が減る→ますます道が広がる(繰り返し)

これを防ぐには、①階段設置、②アスファルト舗装、③敷石後、金網被覆、④木道敷設などの方法があります。雨雪でもすべりにくく、登山初心者でも歩きやすく、土を感じられる整備として①の方法が一番多くとられています。

階段をこれ以上増やさないようにするには、なるべく登山道の真ん中を歩くことと、この問題を登山仲間呼びかけることが何よりです。沿道の植物への配慮をお願いします。



階段を避けて脇を歩く人が増えたため、周囲の木の根が露出してしまった道。脇を歩く人を減らすことと、階段での転倒を防ぐために手すりを作られました。